

(別添)

30生産第781号

平成30年7月10日

全国農業機械商業協同組合連合会会長 殿

全国農業協同組合連合会生産資材部農業機械課長 殿

農林水産省生産局技術普及課長

平成30年7月豪雨で浸水したトラクター・コンバイン等農業機械の取
扱いの周知徹底について

平成30年6月28日以降の台風7号や梅雨前線の影響により、大規模な水害等、全国各地で甚大な被害が発生しています。これにより、トラクター・コンバイン等農業機械についても浸水等の被害が見込まれるところです。

浸水した農業機械は整備業者等が点検する前にスイッチを入れた場合、エンジンが破損するおそれがあります。また、バッテリーや電子制御装置、モーター部、配線の一部が浸水した場合には、電装品や電気配線がショートしやすくなっており、漏電や火災の危険があります。

つきましては、東海、近畿、中国四国、九州地方等今般の水害にあった地域にある（貴会会員各社等）（JA農機センター等）^注に対し、農業者から問合せがあった場合には、点検前に農業機械のスイッチを入れない等の指導の徹底をお願いします。また、整備点検の依頼があった場合には、可能な限り迅速に対応していただくようお願いします。

参考までに、東日本大震災の際に一般社団法人日本農業機械化協会が公表した「東日本大震災における津波被害農業機械の取り扱いについて（お願い）」を添付します。

（注）全国農業機械商業協同組合連合会会長宛ては貴会会員各社等、全国農業協同組合連合会生産資材部農業機械課長宛てはJA農機センター等を記載。

ご意見・お問い合わせ

一般社団法人 日本農業機械化協会

3

協会案内 | 刊行物・頒布物 | 農業機械化関連 | 農作業安全関連

[ホーム](#) >> [震災地対策コーナー](#) >> [塩水に浸かった農業機械について](#)

震災地対策コーナー

●塩水に浸かった農業機械について

東日本大震災における津波被害農業機械の取り扱いについて(お願い)

東日本大震災の被害を受けられた方々に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

農作業でも大変なご苦労をされているかと存じますが、津波で塩水に浸かった農業機械を利用する際には、以下の点に十分に留意して下さい。

1. 塩水に浸かった農業機械は絶対にスイッチを入れない

塩水に浸かった農業機械(トラクター、田植機ではステップ以上、コンバインではシャーシフレーム以上、乾燥機では下部スクリュー以上浸かった機械「以下同じ」)は、JA農機センター、農機販売整備業者等が点検する前には絶対にスイッチを入れないで下さい。

特に、バッテリーや電気配線の一部、電子制御装置や配線の一部、モーター部が塩水に浸かったことが懸念される場合は、塩水により電装品、電気配線がショートし易くなっており、漏電の危険があります。また、最悪の場合、火災につながる場合があります。

2. 修理・整備による回復の可能性

塩水に浸かった農業機械は、今後、修理・整備を行っても以前の状態に戻ることは難しいことも想定されます。

まずは最寄りのJA農機センター、農機販売整備業者等に相談して下さい。

3. 機体の損害が著しい場合の対応策

修理・整備が著しく困難な場合や作業を目前に控えている場合は、修理に時間がかかることも予想されますので、早めに代替機やレンタル・リース農機の手配又は農作業受託業者の手配をお勧めします。

4. 修理・整備の費用は少なくない場合もあります

修理・整備の費用ですが、交換する部品は外観上の問題箇所だけでなく、塩水が入り込んだ部品装置のほぼ全てに及んでいる可能性があるため、分解・洗浄・部品交換などの費用が嵩むと見込まれます。状態によっては買った時の費用を超えてしまうケースも想定されています。

5. 繰り返しの修理・整備が必要となる可能性があります

塩水に浸かった農業機械を修理した場合でも、既に浸水から長時間経過していますので、見えない部分にも広範囲に腐食が進んでいることも推測されます。多くの場合しばらくは順調に稼働しても、再び不具合が発生する確率が高いと見込まれますので、異常を感じたら早めの点検・整備を受けることをお勧めします。

6. 不具合が発生しやすい箇所と修理可能判断の目安

エンジン各部やギアミッション、油圧制御装置や電子制御装置、ブレーキ、各種のベアリングやハーネス類、パーナーなどが損傷していると考えられます。

外観上、問題がないと思われる場合でも塩水に浸かった機械は、塩水などがブレーザーパイプやマフラーなどから流入し、サビの発生や精密部品の損傷を招いていると考えられます。

本会は、塩水に浸かったトラクター、田植機、コンバイン、乾燥機に想定される不具合箇所と修理可能性について、判断の目安を作成しました。ユーザーの皆様がJA農機センターや農機販売整備業者等へ修理・整備を依頼される際の参考として下さい。

(なお、当会は塩水被害を受けた農業機械の損傷状況を収集しましたので、下記機種をクリックしてご覧下さい。)

＜塩水に浸かった農機の不具合箇所について、判断の目安＞

1. 乗用型トラクター
2. 乗用型田植機
3. コンバイン
4. 乾燥機

平成23年7月31日(改訂)

社団法人 日本農業機械化協会

Copyright ©2015 一般社団法人 日本農業機械化協会 All Rights Reserved.

ご意見・お問い合わせ

3

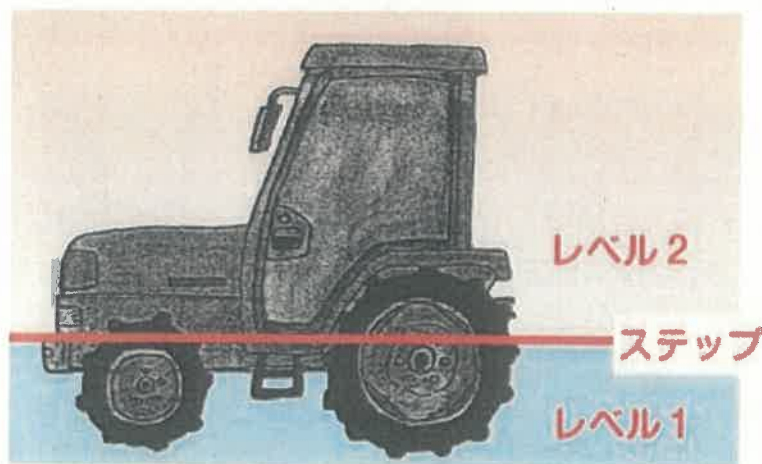
一般社団法人 日本農業機械化協会

協会案内 | 刊行物・頒布物 | 農業機械化関連 | 農作業安全関連

ホーム >> 震災地対策コーナー >> 塩水に浸かった農業機械について >> 塩水被害を受けたトラクターの損傷状況

震災地対策コーナー

1. 塩水被害を受けたトラクターの損傷状況(機体の内部)の一例を紹介します。



浸水レベル1

冠水後、排水・洗浄など防錆対策を実施せずに長期間放置された機械はエンジン下部やミッション下部のネジやシールまで腐食が進行している可能性が見込まれます。

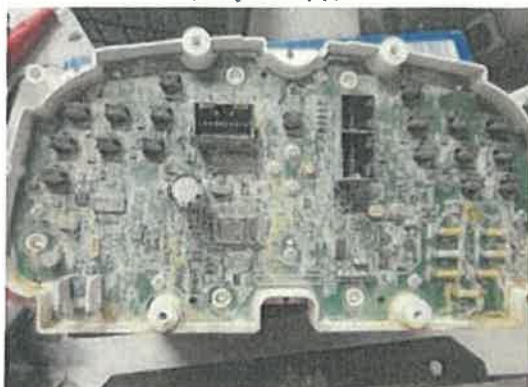
修理に当たっては、多くの個所の分解・点検・部品交換が必要な上、完全な修理が困難な場合が見込まれます。

浸水レベル2(ステップ以上)

横転した農業機械やボンネット上又は座席シート上まで冠水した農業機械は、エンジンやミッション内部まで、泥や塩水が侵入しているとともに電子機器の損傷も大きいため、回復の可能性は低いと見込まれます。

また、同時にステップ以上の冠水の場合も排水・洗浄などの処置を行わずに長時間放置されている場合、エンジンやミッション、電装品の腐食が進行しているため、回復の可能性は低いと見込まれます。

メーターパネル



主要部分の腐食(サビ)進行と異物の侵入状況



吸排気バルブ



エンジン内部にサビ発生



クラッチ



セルモータ



<写真をクリックすると拡大表示します>

<塩水被害を受けた農機の損傷状況>

1. 乗用型トラクター
 2. 乗用型田植機
 3. コンバイン
 4. 乾燥機
- ・ コーナーのTopページ

ご意見・お問い合わせ

3

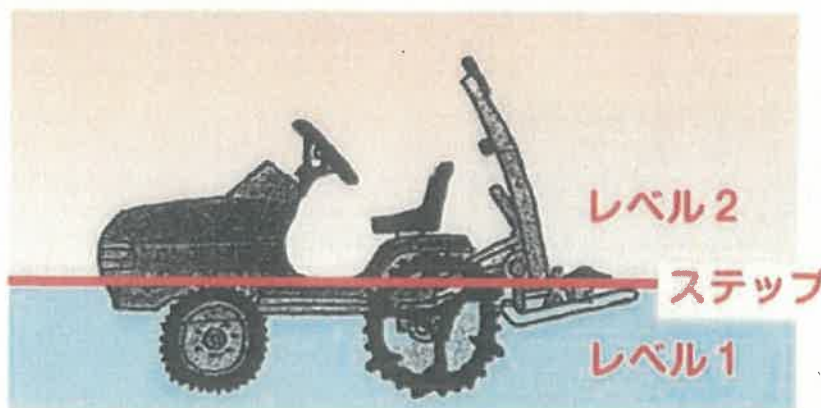
一般社団法人 日本農業機械化協会

協会案内 | 刊行物・頒布物 | 農業機械化関連 | 農作業安全関連

ホーム >> 震災地対策コーナー >> 塩水に浸かった農業機械について >> 塩水被害を受けた田植機の損傷状況

震災地対策コーナー

2. 塩水被害を受けた田植機の損傷状況(機体の内部)の一例を紹介します。



浸水レベル1

冠水後、排水・洗浄など防錆対策を実施せずに長期間放置された農業機械はエンジン下部やミッション下部のネジやシール、電装品・植付部等細部まで腐食が進行している可能性が見込まれます。

修理に当たっては、多くの個所の分解・点検・部品交換が必要な上、完全な修理が困難な場合があります。

浸水レベル2(ステップ以上)

横転した農業機械やボンネット上又は座席シート上まで冠水した農業機械は、エンジンやミッション内部まで、泥や塩水が侵入しているとともに電子機器の損傷も大きいため、回復の可能性は低いと見込まれます。

また、同時にステップ以上の冠水の場合も排水・洗浄などの処置を行わずに長時間放置されている場合、エンジンやミッション、電装品の腐食が進行していることが考えられるため、回復の可能性は低いと見込まれます。

主要部分の腐食(サビ)の進行と泥の侵入状況



エンジン排気マニホールドにサビ発生



エンジン部泥水侵入



<写真をクリックすると拡大表示します>

エンジンについては、トラクターの写真を参考にして下さい。

<塩水被害を受けた農機の損傷状況>

1. 乗用型トラクター
 2. 乗用型田植機
 3. コンバイン
 4. 乾燥機
- ・ コーナーのTopページ

ご意見・お問い合わせ

3

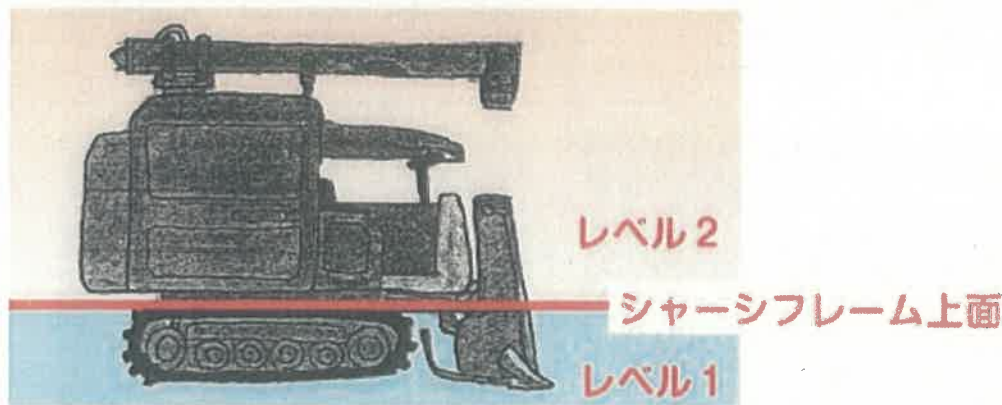
一般社団法人 日本農業機械化協会

協会案内 | 刊行物・頒布物 | 農業機械化関連 | 農作業安全関連

ホーム >> 震災地対策コーナー >> 塩水に浸かった農業機械について >> 塩水被害を受けたコンバインの損傷状況の一例を紹介

震災地対策コーナー

3. 塩水被害を受けたコンバインの損傷状況(機体の内部)の一例を紹介します。



浸水レベル1

冠水後、排水・洗浄など防錆対策を実施せずに長期間放置された農業機械は刈取部やミッション下部、センサー系電装品まで腐食が進行している可能性が見込まれます。

修理に当たっては、多くの個所の分解・点検・部品交換が必要な上、侵入した塩分による腐食のため将来再び不具合が発生する可能性があります。

浸水レベル2(シャーシフレーム上面以上)

横転した農業機械や穀粒タンク又は座席シート上まで冠水した農業機械は、エンジンやミッション内部まで、泥や塩水が侵入しているとともに電子機器の損傷も大きいため、回復の可能性は低いと見込まれます。

また、同時にシャーシフレーム上面以上の冠水の場合も排水・洗浄などの処置を行わず長時間放置されている場合、エンジンやミッション、電装品の腐食が進行しているため、回復の可能性は低いと見込まれます。

こぎ胴(内部までサビ)



主要部分の腐食(サビ)の進行と泥の侵入状況



セルモーター



糞搬送受継ぎ部



＜写真をクリックすると拡大表示します＞

エンジンについては、トラクターの写真を参考にしてください。

＜塩水被害を受けた農機の損傷状況＞

1. 乗用型トラクター
 2. 乗用型田植機
 3. コンバイン
 4. 乾燥機
- ・ コーナーのTopページ

ご意見・お問い合わせ

3

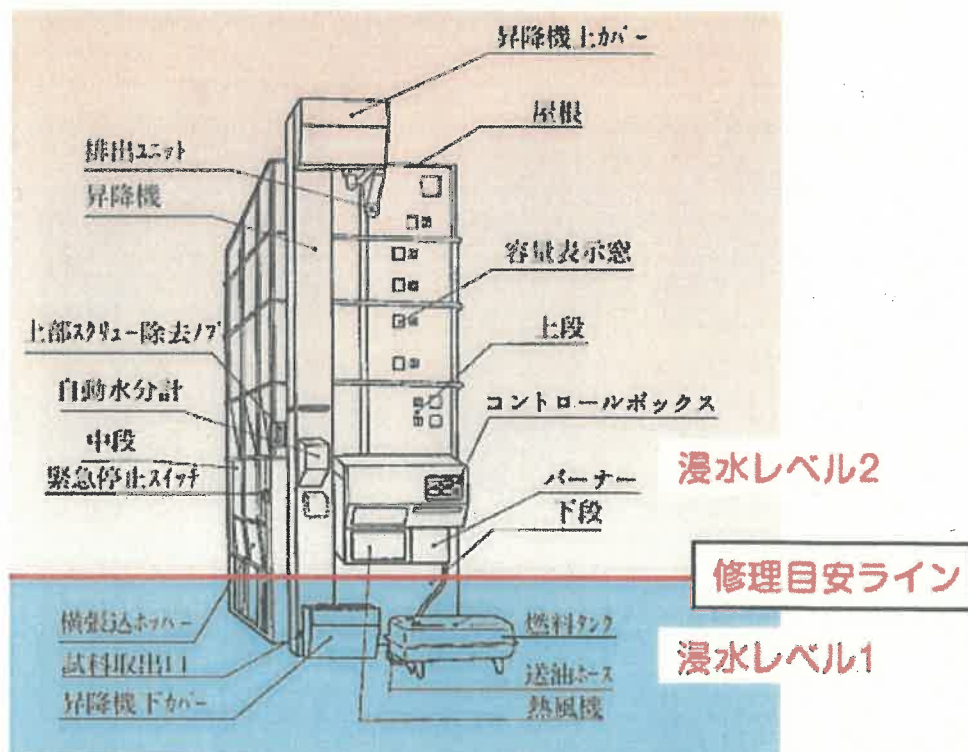
一般社団法人 日本農業機械化協会

協会案内 | 刊行物・頒布物 | 農業機械化関連 | 農作業安全関連

ホーム >> 震災地対策コーナー >> 塩水に浸かった農業機械について >> 塩水被害を受けた乾燥機(機体の内部)

震災地対策コーナー

4. 塩水被害を受けた乾燥機(機体の内部)の一例を紹介します。



浸水レベル1

レベル以下まで冠水した場合、冠水後、排水・洗浄など防錆対策を実施せずに長期間放置された機械は、下部スクリーン(ベアリング・下部モーター・スクリーン・昇降機下部ベアリング)など腐食が進行している可能性が見込まれます。

修理に当たっては、多くの個所の分解・点検・部品交換が必要な上、完全な修理が困難な場合が見込まれます。

浸水レベル2

修理目安ライン以上に冠水した場合、また、横転した農業機械やバーナー・ポンプ・ギアモーター・送風モーター・水分計検出器・インバーター・センサーなど電子機器が冠水している場合、損傷も大きいため、回復の可能性は低いと見込まれます。

また、制御盤まで冠水した場合は、電装品の浸食が進行しているため、回復の可能性(旧型は生産中止で部品の入手が困難)は低いと見込まれます。

操作盤(基板が塩水に浸かった跡)



バーナー



ホッパー(張込部)



塩水に浸かった跡(下部)



本機下部



モーター



<写真をクリックすると拡大表示します>

乾燥機運転前の点検チェック項目

つぎのチェック項目で不具合がありましたら最寄りのJA農機センター・農機販売事業者に相談して下さい。

- ☐ 1. プーリー、軸にサビがないか、また、軽く回るのかを確認する。
- ☐ 2. 各部ベルトが劣化していないか、チェーンにサビがないか、張りが適正か確認する。
- ☐ 3. 各注油箇所(チェーンなど)にオイルや耐熱グリスを注油する。
- ☐ 4. 燃料タンク内に、ごみ・サビがないことを確認し、燃料(白灯油)を給油する。
- ☐ 5. 送油ホース内のエア抜きをする。
- ☐ 6. 掃除口や点検窓が閉まっているか確認する。
- ☐ 7. 送風機のダクトに折れや極端な曲がりがないのかを確認する。
- ☐ 8. 各差込プラグ・コネクタにサビがないか、しっかり差し込まれているかを確認する。

- ☐ 9. 漏電ブレーカーが適正に働くのかを確認する。

＜塩水被害を受けた農機の損傷状況＞

1. 乗用型トラクター
 2. 乗用型田植機
 3. コンバイン
 4. 乾燥機
- ・ コーナーのTopページ